

授業科目 成人看護援助論Ⅱ（1） 循環器	区分・教育内容 専門分野Ⅱ 成人看護学		
授業担当者 加賀谷 園子（専任教員）	開講時期	単位	時間数
	中期	1 単位	12 時間／30 時間
授業の目的 循環機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。 授業の目標 1. 循環機能障害の症状の成因と患者に及ぼす影響がわかる。 2. 循環機能障害の症状・治療に応じた看護がわかる。			
授業概要 循環器系は血液循環により、身体の各臓器へ酸素と栄養の輸送を行い、二酸化炭素と老廃物の除去を行っている。心臓は、ポンプとして生体が必要とする血液を送り出す。血管は輸送管としてはたらくとともに、補助ポンプとしての機能も持つ。このように、心臓や血管は、生命の維持に必須であり、その機能低下や障害は生命の危機をもたらす。また、生命の危機的な状況を脱したとしても、心理的・社会的にもさまざまな問題を引き起こす。このような対象の身体的・精神的・社会的側面を考慮した看護について学習する。			
授業計画(進め方) 1 回目 心臓・血管の構造と機能 2・3 回目 心不全患者の看護 ・心不全症状の発生機序 ・急性心不全患者の看護 ・慢性心不全患者の看護 4 回目 虚血性心疾患患者の看護 ・狭心症患者の看護 ・急性心筋梗塞患者の看護 ・心臓カテーテル検査・治療を受ける患者の看護 5 回目 ペースメーカー植え込み術後患者の看護 6 回目 開心術を受ける患者の看護			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 循環器 医学書院			
参考書・指定図書 フィジカルアセスメントがみえる 第1版 メディックメディア 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院			
評価の方法 筆記試験 成人看護援助論Ⅱ100点満点中の40点			

授業科目 成人看護援助論Ⅱ (2) 呼吸器	区分・教育内容 専門分野Ⅱ 成人看護学		
授業担当者 非常勤講師	開講時期 中期	単位 1 単位	時間数 10 時間／30 時間
授業の目的 呼吸機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。 授業の目標 1. 呼吸機能障害の症状の成因と患者に及ぼす影響が理解できる。 2. 呼吸機能障害の症状を持つ患者への適切な看護が理解できる。			
授業概要 人間にとって呼吸は代謝を行うために必要な酸素を体内に取り入れ、循環は血液を介して代謝に必要な酸素を全身に運ぶ、生命活動である。呼吸と循環は、人間が生きるための重要な活動であり、停止すると直ちに死に至ってしまうため、生命の源であるといえる。これらの機能が障害されると生命が脅かされ、日常生活活動が困難になり死への不安も強くなりやすい。そのような対象の身体的・精神的・社会的側面を考慮した看護援助について学習する。 授業計画(進め方) 1 回目 呼吸機能障害とは 呼吸機能障害を持つ患者の主な検査（呼吸機能検査・ガス交換機能検査） 症状に対する看護（呼吸困難、喀痰・咳嗽） 2 回目 気管支喘息患者の看護（急性喘息発作・慢性安定期） 3 回目 呼吸不全について 慢性閉塞性肺疾患患者の看護 4 回目 人工呼吸器療法を受ける患者の看護 演習：人工呼吸器療法の体験 5 回目 肺切除術を受ける患者の看護 慢性疾患におけるエンド・オブ・ライフケア			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 呼吸器 医学書院			
参考書・指定図書 病気がみえる vol.4 呼吸器 第3版 メディックメディア			
評価の方法 成人看護援助論Ⅱ100点満点中の30点 筆記試験、授業態度を総合的に評価する。			

授業科目 成人看護援助論Ⅱ (3) 腎・泌尿器	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 成人看護学		
授業担当者 小野 絵美 (中通総合病院)	開講時期	単位	時間数
	中期	1 単位	8 時間 / 30 時間
授業の目的 腎・泌尿器機能障害をもつ対象を理解し、症状、治療に応じた看護ができる能力を養う。			
授業の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 腎・泌尿器機能障害の症状の成因と患者に及ぼす影響が理解できる。 2. 腎・泌尿器機能障害の症状を持つ患者への適切な看護がわかる。 3. 慢性腎臓病を持つ患者や腎不全治療（透析療法、腎移植）を必要とする患者の特徴を理解し、療養生活支援における看護の役割がわかる。 			
授業概要 腎・泌尿器系疾患とその治療に対する身体的援助（症状観察とそのアセスメント、セルフケア）、心理的援助（不安・苦痛への配慮、プライバシー保護、人間の尊厳、羞恥心への配慮）、社会的支援（患者・家族への援助と多職種連携、社会資源の活用）について学ぶ。 慢性腎臓病は、腎機能の低下に合わせ、人間の基本的欲求である食事の制限が自己管理として治療の一部になる。腎機能が廃絶すると「死」と直面することになり、延命を目的とした透析治療への依存や社会的役割や経済状況の変化など喪失体験を経験し、心理的な影響も大きい。このような特徴を持つ患者の理解と治療・療養生活を継続するための支援について学ぶ。			
授業計画（進め方） <ol style="list-style-type: none"> 1 回目 腎・泌尿器科疾患の身体的・心理的・社会的特徴 腎・泌尿器科疾患の特徴的な症状・検査と看護 2 回目 代表的な泌尿器科疾患の治療を受ける患者の看護 3 回目 慢性腎臓病の各段階の特徴と療養における看護、腎疾患の特徴と療養における看護 4 回目 腎不全治療（血液透析、腹膜透析、腎移植）を受ける患者の看護 			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 腎・泌尿器 医学書院			
参考書・指定図書 透析ハンドブック 医学書院 病気が見える vol.8 腎・泌尿器 第2版 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験 成人看護援助論Ⅱ100点満点中の30点			